

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターすまいるキッズ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数) 10人
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 13人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・教室数の確保や療育スペースを広々と使用することができ緑の環境に囲まれながら自然体験を楽しめます。	・刺激の少ないシンプルな室内環境を整え、指示や情報が目で見えて分かるような視覚支援を工夫しています。	
2	・保護者支援として、お子さまと一緒に療育に参加できる親子療育を実施したり、ご家族やご兄弟で参加出来る行事を開催し親子で充実した時間を過ごせるよう支援を提供しています。		
3	・季節や行事に合わせた給食メニューを提供し、目で見て感じて美味しい、楽しい食事提供に努めています。	・試食会を通して保護者のご意見やご希望を取り入れたり、食事に関する相談会を実施し、食育に繋がる支援を提供しています。 ・実際に野菜等の食材を育て、肌を通じて食への興味関心を育てています。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所が中学校跡地に入り、建物の古い印象が強い。		・建物の外観や見た目ではなく、支援内容や環境の質を充実できるように教材や道具を整えていく必要がある。
2	・専門的な支援を行うための人材の確保と人材育成が課題。		・専門的な知識の向上を図るための研修会及び勉強会の強化を図ることが課題。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援センターすまいるキッズ (児童発達支援)	公表日	令和7年 2月 28日
		利用児童数	15人
		回収数	10人

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8			1		戸外やグラウンドなど広いスペースを使いお子様がのびのびと活動出来るようになっています。冬場については、十分に体を動かし活動出来るプレイルームを活用しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7			2		人員は利用される子どもの人数や定員に合わせて配置しています。また、研修会や勉強会へ参加し、知識を高めるために療育支援の経験を積んでいます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	1	2	3		階段手摺及び玄関にスロープを設置し、車椅子でも安全に移動できるよう安全面に配慮しています。また建物の構造上において改築・リフォーム等難しい状況です。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	5	1		4		室内換気や使用した玩具や道具などの消毒も含め徹底しています。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1		2		感染症や緊急時の対応マニュアルについては保護者説明会の添付資料として配布しています。事故防止や安全対策として不審者に対するマニュアルを策定し保護者へ案内また周知をしています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7			2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	1		1		ご家族のニーズや地域せいかつでの困り感など、目標や問題など共有しながら支援計画に反映するようにしています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7			2		事業所内に常駐していないが、発達外来の医師や理学療法士への相談や助言を得ながら支援に繋げています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	1		2		支援計画を通して個々の目標や配慮する内容などを家族の方に説明しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1		2		季節の行事や社会体験などを取り入れ、実体験を経験する事で学びながらスキルの獲得を目指しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	6		1	2		園解放を利用して、地域の園での遊びの共有が出来るよう連携を図り実施しています。（日程はお便りで報告）
保護者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8			1		食事代や利用料また加算金などの負担金について、契約時、又随時必要に応じて内容を説明しています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8			1		利用開始にあたっては、児童発達支援の運営規定に基づく重要事項説明書と合わせて支援計画の内容を説明しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7			2		ペアレントプログラムに実施は出来ておらず、再開に向けて準備を進めている所です。研修内容の情報提供は、随時お知らせしています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	6	3				日々の様子について、連絡ノートを活用し、活動や行事等の写真を合わせて添付しています。お子様の伸びや問題点についても必要に応じてその都度ご家族と相談しながらよりよい支援に繋げています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	1		1		お子さまの事で気になる事や就学に向けてのご相談など随時面談を実施し、必要な相談や援助を行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8		1			

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	2	保護者会役員を中心に行事前に奉仕作業を開催したり、保護者同士の顔合わせが出来ている。感染症の拡大において行事など延期や中止になる事もあったが、行事等でご兄弟の顔合わせ出来ている。	
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9			相談を受けた場合は電話連絡や面談の実施又はご自宅へ訪問し、迅速に対応しています。相談内容に応じて、出来る範囲でご希望に合わせたサービス提供出来るように努めています。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1	1	必要な連絡や情報提供などは電話連絡や案内文を配布する等必要に応じた手段で対応しています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4		1	4	毎月の行事予定や活動内容についてのお知らせや感染症などの情報提供及び保健だより等発行しています。季節に応じた給食のメニューや食事に関する情報なども、給食便りとして発行しています。本アンケートに関する結果については、ホームページ掲載についてご家庭に通知したうえで公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	1	2		契約時において個人情報の取り扱いについてご説明し、各関係機関と情報共有について同意書の提出にご協力頂いています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7		2		感染症や緊急時の対応マニュアルについては保護者説明会の添付資料として配布しています。事故防止や安全対策として不審者に対するマニュアルを策定し保護者へ案内また周知をしています。毎月避難訓練の実施をしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8		1		災害に応じた内容で避難訓練及び模擬消火訓練を毎月実施し、年2回消防立ち合いによる通報、初期消火訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7		2		毎月の支援会議の場や怪我や事故等起きた場合には迅速に職員に周知し、改善や見直しを検討しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1	1		事業所内での怪我や事故などは、事業所で対応し、迅速に保護者の方へ連絡しています。緊急を要する場合についても事業所で対応し、ご家族や関係機関に連絡をしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9				心身の安定を目標としながら、のびのびと過ごして頂くための療育内容を工夫し、安心安全な環境を提供しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8		1		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターすまいるキッズ(児童発達支援)				公表日	令和7年2月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・児童の状況に合わせて、クールダウンやリフレッシュできるような部屋があり、静かで過ごしやすいです。	・古い施設を利用しており、移動が大変で部屋が狭いです。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・児童の状況に合わせて当日の利用人数の変更があれば確認しながら配置数の変更を行っています。	・目配り、気配りがかなり必要な場面があり子どもの人数に対して不足する時があります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・部分的なバリアフリーはしています。	・雨天時等滑りやすく、バリアフリー化してまいりため車いすだと移動が困難な場合があります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・活動によっては環境は変え、取り組みやすいように意識しています。	・室内の消毒換気や天日干しなど行い清潔な感情で過ごせるよう工夫しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・クールダウン出来るような部屋数を確保しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・毎朝のミーティングで情報共有、意見等出し合っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者アンケート結果等、支援会議やミーティング等で周知、改善点など検討しています。	・保護者が何をしてほしいのか等明確に分かりやすく伝えていながら、実像と照らし合わせて検討していくことが課題です。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎月のケース会議を実施し、改善へ繋げている。また、朝のミーティングも振り返り(前日)に取り組んでいます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・第三者による助言等は、外部からの専門者に施設支援として研修会や学習会を開催しています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			・毎月のお便りの中に、活動プログラムを入れて保護者に周知しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・保護者との面談での様子や関係機関の情報を取りながら保護者のニーズに沿った内容にしています。	・家庭での様子や幼稚園等の様子を聞き取りしたり事業所での様子を把握した上で担当者として話しをしながら進めています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・支援会議やモニタリングを含め課題等を出し計画に反映できるよう努めています。	・モニタリングは全職員で検討会議をしたり課題や出てくる所など情報共有しながら、計画書に反映しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・毎月の目標設定として各担当の職員に周知しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・本人の課題も含め、シンプルに分かりやすい内容での支援を踏まえて設定しています。	・保護者様に説明する際にも、分かりやすくシンプルに伝える事もありますが、どこに困りどうして欲しいのか等、しっかり聞き取りをしながら進める事も必要と感じています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・実際に子供たちと携わっている職員の意見も取り入れながら、活動の内容を検討しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・活動内容でよかった事などを共有し、進め方などを話しあいながら工夫したり、外部(理学療法士)からの助言等踏まえて工夫しています。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・時間に余裕がある時には個別的に優先して取り組んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・日によってクラスに入る職員が違う為、日により職員間で内容を共有したり、こまめに連携が出来ている。毎朝のミーティングで振り返り行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・その日に出来ない場合もあるため、次の日の朝のミーティングで振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日誌として毎日一人一人個別に記録し、職員間で共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・職員間でモニタリングを実施。見直しや計画内容の変更などを職員間で共有しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達管理責任者に加え、担当職員も参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・公開療育時や地域連絡会などで、情報を共有したり、助言やアドバイスを支援に活かしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保育所等訪問支援も取り入れ情報共有をしながら、実際にお子様にも携わる職員にも共有し取り組んでいます。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学前に、移行シートを作成し学校との情報共有をする場を設けています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		・他事業所との交流会を通して、意見交換会を含め交流し、今後の事業所間での課題等進めています。	・地域の保健師や福祉に携わる機関も含めた意見の場があるとより連携が出来ると思います。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・理学療法士さんに入って頂き、研修や振り返り勉強会などを開催し、支援に反映できるよう助言やアドバイスを得ています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・子ども部会や子育て会には参加出来ています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・保育所との交流を設けて、子ども達と活動する事が出来ています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡帳や電話での連絡で様子をお伝えしたりしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・事業所での保護者勉強会の場やお子様と一緒に参加出来る活動等取り入れています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者と面談時に家庭での様子を聞き取りし、困りがある所や支援してほしい内容等踏まえながら支援計画書に反映している。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・支援計画書の内容を分かりやすくお伝えし同意を得ています。	・説明する際は、なるべくわかりやすい表現で具体的にお伝えしています。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・時期を見ながら、必要に応じて面談を実施し家庭での困りや様子を聞き取りし、助言やアドバイスを行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・行事の際など、保護者同士での交流や兄弟間での交流を取り入れながら実施しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・保護者様からの相談や苦情等については、その日のうちに対応し、担当者が不在の場合についても連携を図り対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月のお便りを発行し、保護者様に周知しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・事業所の行事に地域のお子様や校区民や地域の学校に招待し、一緒に交流出来る場を設けています。また高校生のボランティアを要請し地域交流を図っています。	・学校の行事等に参加される方が少ない現状があり、地域との繋がりがりでは、地域の方に気て頂く事をまず初めていければと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・保護者説明会の際に、資料を添付し説明を行い毎月の避難訓練は必ず実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時にお子さまの状態や服薬等についての確認を行い、状況など把握する。職員間においてもミーティングで確認をしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・食物アレルギーがあるお子様に関しては、給食の提供が出来ない事を事前にお伝えし、お弁当を持って来てもらうように対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約時の際に、お子様の状態等確認し、保護者とも対応の仕方を共有しています。また職員間でも安全の確保について共有する場を設けています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・毎日のミーティングで、情報の共有をし、対応策など話し合いの場を設けています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・支援会議等で虐待についての研修を実施し、内容についても職員間で共有しています。	・法人内での委員会で、全体的な研修もあつたりするが、事業所においても、専門的な講師等の講話等があればと思います。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・利用始めの契約時に保護者には説明、同意書にサインを頂き、お子様の状態についてもミーティングで情報の共有を行っています。		

